

令和6年度 第2回小松市入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所		令和7年1月17日（金） 小松市庁舎 低層棟4階 第1委員会室	
委員 （委員数4名） （出席者4名）		委員長 高見健次郎 委員 潮津 勇 委員 石田京子 委員 栗橋祐介	
会議次第		1 開会 2 議題 審議事案 審議対象案件の審議 3 閉会	
審議対象期間		令和5年10月1日～令和6年9月30日	
抽出案件		8件	
物 品	指名競争入札	1件	・除雪車両位置情報システム
	随意契約	—	
工 事	指名競争入札	1件	・木場潟第1処理分区污水管渠新設工事(34工区)
	条件付き一般競争入札	3件	・県水送水管埋設工事に伴う支障配水管布設替工事 ・小松市中央浄化センター汚泥処理棟耐震補強工事 ・令和6年発生能登半島地震災害九竜橋川排水路復旧工事 (2工区)
	随意契約	—	
委 託	指名競争入札	2件	・郵便申請証明書発行等一部業務委託 ・小松市橋梁長寿命化修繕計画見直し業務
	条件付き一般競争入札	1件	・小松市赤ちゃん紙おむつ定期便業務
	随意契約	—	
委員からの意見・質問 それに対する回答		意見・質問	回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による報告 又は意見の具申			

委員からの意見・質問，回答等詳細は次のとおり。

委 員	小松市事務局
2 審議事案 審議対象案件の審議 一般競争入札 ◎県水送水管埋設工事に伴う支障配水管布設替工事 ○総合評価の加点について、小松市と取引の長さで加点に差が出てくる。 実績を積んでいけば評価される今の仕組みは良いと思う。 ○施工実績の評価の仕方は全部同じか。 ○入札金額に幅があるが、積算の仕方で違いがでるのか。 一般競争入札 ◎小松市中央浄化センター汚泥処理棟耐震補強工事 ○一社応札の理由は。 ○2回目も不調になった場合どうなるのか。 ○業者が参加可能な一般競争入札案件を把握するには、自分でシステムを確認しないとわからないのか。 ○予定価格どおりの結果だが、予定価格は適正だったのか。 ○労務単価はどのように変更しているのか。	●年数は過去実績に影響してきます。 ●はい。 ●設計に基づき積算を行い、自身の利幅や持ち点を考慮して入札してくるため、違いがでるのだと思います。 ●改修工事は手間がかかるためだと思います。 ●設計内容に見直しがなければ、参加対象者の範囲を広げる場合もあります。 ●はい。 ●適正だったと認識しています。 ●県の単価を使用しているので、市独自で変更することはありません。

指名競争入札

◎除雪車両位置情報システム

○落札率が低く、見積金額と入札金額に大きな差があるのはなぜか。

○仕様書にはシステム更新（保守）とあるが、既存システムの更新か新設でもよいのか。指名競争入札で執行しているが、随意契約でもよかったのではないか。

一般競争入札

◎令和6年発生能登半島地震災害九竜橋川排水路復旧工事（2工区）

○特になし。

指名競争入札

◎木場潟第1処理分区污水管渠新設工事（34工区）

○特になし

指名競争入札

◎郵便申請証明書発行等一部業務委託

○長期継続契約とした理由は何か。

●推測ではありますが、以前から利用しているシステムで、システム構築も含まれているので、新規業者と継続業者ではかかる費用が違い入札時に下げることができたのではないかと考えています。

●システムの指定もなく、継続性もなかったため入札としました。随意契約では、金額が高くなる可能性もあり、判断は難しいです。

●習熟度が必要な業務で、安定した市民サービスの提供を考え長期継続契約としました。

○見積単価の比較確認はどのように行ったのか。

一般競争入札

◎小松市赤ちゃん紙おむつ定期便業務

○業務内容はおむつの配達だけでなく、面談して聞き取りし記録を残すといった結構個人の生活に入ってくる内容となっている。金額だけで落札業者が決まる一般競争入札でよかったのか。

指名競争入札

◎小松市橋梁長寿命化修繕計画見直し業務

○特になし

●人口が同規模の自治体から聞き取りを行いました。

●今後プロポーザル方式での実施も検討していきたいと思います。